

背景

- 選挙権の年齢が引き下げられ、高校生に政治・町政に対する関心を高めてもらいたいことから開始。

事業の概要 〈開始年度：H28～〉

○高校生（生徒会役員中心）・議員・町若手職員による話し合いを実施。

- R5年度は合わせて25名程度が参加。
(新型コロナウイルス感染症の影響がなかったH30年度には、79名が参加)

○5～6名の少人数でグループを構成し、話し合いを実施。

- ・ファシリテータ（進行役）は議員。
- ・R5年度のテーマは「10年後も住み続けたいまちとは？」と「そのまちを実現するために取り組むべきことは？」の2つ。（テーマは毎年度議員で組織する実行委員会が設定）
- ・話し合いで出た意見を付箋に書き留め、模造紙に貼付し、各グループ、話し合いの結果を発表。

[▼集合写真]



[▼話し合いの様子]



[▼発表の様子]



工夫・注意点

- 少人数でのグループ討議とすることで、気軽に話すことができる雰囲気づくりを心掛けている。
- 執行部から見た意見への期待や年代の近さを考慮し、町役場新規採用職員に参加を依頼。（R4年度は総合計画策定の参考とすべく、執行部からの依頼により若手職員が参加。）

事業の効果・今後の展開

- 意見を出すだけでなく、実現することで政治・町政に対する関心を高めるため、出た意見から実現できることはないか、再度懇談会を実施することになっている。
- 継続することで、年代による意見の推移を見るために、話し合いのテーマを固定することを考えている。